



テニス 競技公式ルール

Special Olympics





目次

1.	適用ルール	3
2.	公式種目	3
2.1	個人技能競技	3
2.2	シングルス	3
2.3	ダブルス	3
2.4	混合ダブルス	3
2.5	ユニファイドスポーツ®ダブルス	3
2.6	ユニファイドスポーツ®混合ダブルス	3
2.7	ユニファイドスポーツ®チームテニス	3
3.	競技ルール	3
3.1	ディビジョニング	3
3.2	マッチプレー（試合方式）	3
3.3	ノーアドバンテージ・スコアリング方式	4
3.3.1	シングルス戦	4
3.3.2	ダブルス戦	4
3.3.3	混合ダブルス戦	4
3.3.4	ユニファイドスポーツ®ダブルス戦	4
3.3.5	スコアコール	4
3.4	コーチング	4
3.5	タイブレーク	5
3.6	ユニファイドスポーツ®ダブルス	5
3.7	ユニファイドスポーツ®チームテニス種目	5
3.8	レベル1の7種類の技能テスト	6
4.	レベル	9
5.	ITN 査定 査定手順（次頁参照）	13



1. 適用ルール

スペシャルオリンピックス (S0) のテニス競技公式スポーツルールは、すべてのスペシャルオリンピックステニス競技において適用される。本ルールは、国際的なスポーツプログラムとして、国際テニス連盟 (ITF) が定めるルール (<http://www.itftennis.com/> を参照) に基づきスペシャルオリンピックスが定めたものである。ITF または国内競技団体 (JTA) のルールを採用するが、それらとスペシャルオリンピックスのテニス競技公式スポーツルールまたはスペシャルオリンピックススポーツルール第 I 章—総則との間で矛盾が生じる場合は、スペシャルオリンピックスのテニス競技公式スポーツルールを適用するものとする。

参考：行動規範、トレーニング基準、医療・安全面の必要条件、ディビジョニング、表彰、上位レベルの競技会への進出条件、およびユニファイドスポーツに関する詳細については、スペシャルオリンピックススポーツルール第 I 章総則

<http://media.specialolympics.org/resources/sports-essentials/general/Sports-Rules-Article-1.pdf> を参照のこと。

2. 公式種目

種目の範囲は、あらゆる能力のアスリートに競技する機会を提供することを目的としている。プログラムでは、提供する種目、および必要に応じてそれらの種目の運営方針を決定することができる。コーチは、それぞれのアスリートの技術と興味に応じて、適切なトレーニングの提供と種目を選択することに責任を負う。

以下はスペシャルオリンピックスにおける公式種目の一覧である。

- 2.1 個人技能競技
- 2.2 シングルス
- 2.3 ダブルス
- 2.4 混合ダブルス
- 2.5 ユニファイドスポーツ®ダブルス
- 2.6 ユニファイドスポーツ®混合ダブルス
- 2.7 ユニファイドスポーツ®チームテニス

3. 競技ルール

3.1 ディビジョニング

- 3.1.1 アスリートのディビジョニングは ITN 査定フォームの ITN のナンバーおよび ITN の最終スコアに基づいて行われる。
- 3.1.2 試合に際して各アスリートは競技会登録書類一式と共に ITN 査定フォームを提出しなければならない。
- 3.1.3 ITN 査定フォームは、スペシャルオリンピックスのテニス競技公式スポーツルールのセクション 5 で提供されている。

3.2 マッチプレー (試合方式)

- 3.2.1 試合は次のいずれかの方式とする。
 - 3.2.1.1 短縮 4 ゲーム 3 セットマッチ
 - ①短縮ゲームでは、2 ゲーム差で 4 ゲーム先取した選手/チームが、セットをとる。
 - ②ノーアドバンテージ方式とする。
 - ③スコアが 4 ゲームオールとなった場合は、7 ポイント先取のタイブレーク・ゲームが行われる。



- ④セットカウントが1 セットオールになった場合は、試合の勝者を決める為、10 ポイント先取のタイブレーク・ゲームが行われる。この場合のタイブレーク・ゲームはファイナルセット（3セット目）の代わりとなる。
- 3.2.1.2 6 ゲーム 3 セットマッチ
 - ①2 ゲーム差で6 ゲーム先取した選手/チームがセットをとる。
 - ②ノーアドバンテージ方式とする。
 - ③スコアが6 ゲームオールになった場合は、7 ポイント先取のタイブレーク・ゲームが行われる。
 - ④セットカウントが1 セットオールとなった場合は、試合の勝者を決め、10 ポイント先取のタイブレーク・ゲームが行われる。この場合のタイブレーク・ゲームは、ファイナルセット（3セット目）の代わりとなる。
- 3.2.1.3 短縮ゲーム（4 ゲーム）3 セットマッチまたは6 ゲーム 3 セットマッチの試合：2 タイブレークの4 ゲームまたは6 ゲームセットマッチの場合、最終の10 ポイント先取のタイブレーク・ゲームを行う前に2分間の休憩を与える。
- 3.2.1.4 すべての試合で、ノーアドバンテージ・スコアリング方式が適用される。ノーアドバンテージの試合方法：先に4 ポイントを獲得した選手がゲームの勝者となり、ゲームの7 ポイント目が、必ず勝敗を決めるゲームポイントとなる。
- 3.3 ノーアドバンテージ・スコアリング方式
 - 3.3.1 シングルス戦
 - 3.3.1.1 7 ポイント目に到達した際、レシーバーはアドバンテージコートかデュースコートを選ぶことができ、サーバーはもう一方のコートでサーブを打つこと。
 - 3.3.2 ダブルス戦
 - 3.3.2.1 7 ポイント目に到達した際、レシーバーペアはアドバンテージコートかデュースコートを選ぶことができ、サーバーペアはもう一方のコートでサーブを打つこと。
 - 3.3.3 混合ダブルス戦
 - 3.3.3.1 勝敗を決めるゲームポイントでは必ず同性の選手がサーブとレシーブを行うこと。つまり、サーバーが男性の時はレシーバーも男性で、女性のサーバーの時は女性のレシーバーとなる。
 - 3.3.4 ユニファイドスポーツ®ダブルス戦
 - 3.3.4.1 7 ポイント目に到達した際、サーバーがアスリートの時はレシーバーもアスリート、パートナーがサーバーの時はレシーバーもパートナーとなる。
 - 3.3.5 スコアコール
 - 3.3.5.1 スコアのコールは従来の方式か、通常の数字、すなわち「0、1、2、3、ゲーム」のどちらかをを用いる。
- 3.4 コーチング
 - 3.4.1 スペシャルオリンピックスから認定を受けたコーチ1人がコートに座っても構わない（座る椅子は、コート面の外、ネットポストの横の審判の椅子）



の隣とする)。選手が奇数番目のゲームの終わりにエンドチェンジをする際、およびタイブレーク・ゲーム（10ポイントの場合のみ）前に与えられる2分間休憩の際、コーチは選手を指導できるが、タイブレーク・ゲーム中に行ってはならない。またエンドチェンジは90秒以内に終えなければならない。

3.5 タイブレーク

3.5.1 2人以上のアスリートあるいはチームの最終ポイントが同じ場合、以下の順に従って勝敗を決める：

3.5.1.1 第1：すべてのマッチ内で失ったセット数が最少であること。

3.5.1.2 第2：すべてのマッチ内で勝ったゲーム数が最大であること。

3.5.1.3 第3：すべてのマッチ内で失ったゲーム数が最少であること。

3.5.1.4 第4：（チーム以外の場合）直接対決の結果。

3.6 ユニファイドスポーツ構成

3.6.1 ユニファイドダブルス/混合ダブルスでは、アスリートとユニファイド パートナーの比率は、アスリート1人に対してユニファイド パートナー1人でなければならない。

3.6.1.1 ダブルス/混合ダブルスでは、アスリートとユニファイドパートナーは、同程度の年齢と同程度の競技能力でなくてはならない。同程度の年齢と能力に関する詳細については、スポーツルール第1章総則14.1.2を参照のこと。

3.6.2 チーム競技では、アスリートとユニファイド パートナーの比率は、アスリート2人に対してユニファイド パートナー2人でなければならない。

3.6.2.1 ダブルスチーム競技では、アスリートとユニファイドパートナーは、同程度の年齢と同程度の競技能力（各ダブルスのペア内）でなくてはならない。同程度の年齢と能力に関する詳細については、スポーツルール第1章総則14.1.2を参照のこと。

3.7 ユニファイドスポーツ®ダブルス

3.7.1 ユニファイドスポーツ®ダブルスの各ペアは、ITN の最終ナンバーで定義された同じ程度のスキルを持つ知的障害のある選手 1 名と、知的障害のない選手 1 名から成る。

3.7.2 各ペアは、2 人のサービスの順番とコート上の位置（アドバンテージかデュースコート）を決める。

3.7.3 もしチームメンバーが個別に異なるレベルで評価されている場合、チームは最も高いレベルのメンバーのレベルで競技しなければならない。

3.8 ユニファイドスポーツ®チームテニス種目

3.8.1 スペシャルオリンピックスのユニファイドスポーツ®チームテニスプログラムは、ITF（国際テニス連盟）およびスペシャルオリンピックスのテニス競技のルールが適用される。

3.8.2 ユニファイドスポーツ®チーム構成：ユニファイドテニスチームは、ユニファイドダブルスチームで構成される。ユニファイドダブルスチームは、知的障害のあるアスリート 1 名と、知的障害がなくレイティングのスコアが同じ程度のスキルを持つ年齢が近いアスリート 1 名から成る。

3.8.3 個人のレイティングーすべてのテニス選手は ITN 査定フォームで格付けする。ユニファイドダブルスチームを結成する際、アスリートとユニファイドパートナーは可能な限り能力面で同等でなければならない。どちらの選手も全く同じ ITN の最終ナンバーを保有（選手 A と選手 B が ITN 8 を保有）する必要があるが、ITN ナンバーの最も高いレベルで競技する（選手 A は ITN 9 レベル 4 で選手 B が ITN 8 レベル 5 の場合、チームは ITN 8 レベル 5 で競技する）。

3.8.4 登録選手人数：ユニファイドチームの登録選手は最少 3 組のユニファイドダブルスと最大 6 組のユニファイドダブルスチームで構成される（例：ユニファイドチームのダブルスを 3 組で構成する場合、可能であればそれぞれの 1 組ずつ



- をレベル 2、レベル 4、レベル 5 とする)。
- 3.8.5 競技会： 競技会は 1 対 1 の対戦や多くのチームを招待するものがある。1 対 1 で対戦する競技会の場合、対戦する学校同士、クラブ同士は、同じレベルやレイティングが近似のダブルスチームが同数組参加する。
- 3.8.6 ユニファイドチームのディビジョニング編成： 競技会の間、ユニファイドスポーツ®テニスチームはレベルおよびダブルスチームのレイティング（個人のレイティングのスコアを合計したもの）に基づきディビジョニングされる。競技会責任者（トーナメントディレクター）が競技会に向け同等のレベルとレイティングを組み合わせる。
- 3.8.7 ダブルス試合の組み合わせ： 競技会の試合を組むには、同程度の競技レベルと同程度のレイティングのスコアを持つダブルスのチーム同士が試合をする必要がある。
- 3.8.8 競技会における指定テニスボールの使用およびコートサイズの決定： ダブルスチームの保有するITNの最終スコアとITNの最終ナンバーによって、競技会で使用するべきテニスボールの種類、およびコートサイズが決まる。

ユニファイドダブルスチーム競技			
レベル	ITF#	コートサイズ	ボールタイプ
2	10.1	42` x 27`	レッド
3	10	60` x 36`	オレンジ
4	9	78` x 36`	グリーンドット
5	8, 7	78` x 36`	イエロー
6	6, 5, 4	78` x 36`	イエロー

- 3.8.9 選手交代： ダブルスチームにおける競技中の交代は許可されていない。もしダブルスチームのどちらかの選手が試合を継続できなくなった場合、そのダブルスチームは失格となる。
- 3.8.10 競技形式： 以下は両チームの選手人数に基づいた競技形式である。相手チームより選手が多い場合、余る選手はシングルスエキシビジョンマッチを行う。
- 例 1： チームAとチームBには、それぞれ4名の選手（アスリート2名とユニファイドパートナー2名いる。競技は2試合行われ、各勝利につき1ポイントが与えられる。第1試合では、第1試合では、代表団1のユニファイドチームAが、代表団2のユニファイドチームAと対戦する。第2試合では、代表団1のユニファイドチームBが、代表団2のユニファイドチームBと対戦する。
- 例 2： チームAには6名の選手、チームBには8名の選手がいる。チームBで残る2名の選手はシングルスエキシビジョンマッチを行う。
- 両チームとも選手4名場合、シングルス2試合とダブルス2試合行う。
- 両チームとも選手6名の場合、ダブルスを3試合行う。
- 両チームとも選手8名の場合、ダブルスを4試合行う。
- 両チームとも選手10名の場合、ダブルスを5試合行う。
- 両チームとも選手12名の場合、ダブルスを6試合行う。
- 3.8.11 対戦形式： 3 セットマッチの短縮ゲーム（ショートセット）で、3 セットのうち良い方の 2 セットで 1つのマッチとする。すべての試合で、ノーアドバンテ



ージ・スコアリング方式が適用される。

3.8.11.1 雨天時や時間が遅れている時は、6 ゲーム 1 セットの試合を代わりに行う。

3.8.11.1.1 セットマッチでは対戦相手に 2 ゲーム以上の差をつけ、
1 セットの内 6 ゲームを先取したチームがそのセットの
勝者である。

3.8.11.1.2 6 ゲームオールになった場合、10 ポイント先取のタイ
ブレイク・ゲームが行われる。

3.8.11.1.3 ノーアドバンテージ・スコアリング方式を用いる。

3.9 レベル 1 の 7 種類の技能テスト

3.9.1 レベル 1 のボールはレッドボールとする。

3.9.2 フォアハンドボレー

3.9.2.1 アスリートはネットから約 1 m 離れて立ち、球出し担当はネットの反対側のコー
トのサービスラインとネットの中間に立つ。各アスリートには 5 回の試
技のチャンスが与えられ、ネットの向こう側にうまくボールを打ち込め
るかを競う。球出し担当は、アスリートのフォアハンド側に下手投げで
トスする

3.9.2.2 アスリートは、どちらかのサービスボックス内に打ち返すと、5 ポイントが与えら
れる。

3.9.3 バックハンドボレー

3.9.3.1 球出しをアスリートのバックハンド側に行う以外は、フォアハンドボ
レーと同様である。

3.9.3.2 各アスリートには 5 回の試技のチャンスが与えられる。

3.9.4 フォアハンド・グラウンドストローク

3.9.4.1 アスリートはサービスラインの中央 (T) から 1 m 後ろに立つ。球出
し担当は、ネットの反対側のサービスラインとネットの中間に立ち、
下手投げでボールをトスし、ワンバウンドしてからアスリートのフォ
アハンド側に届くようにする。各アスリートには 5 回の試技のチャン
スが与えられる。

3.9.4.2 アスリートは、どちらかのサービスボックス内に打ち返すと、5 ポイ
ントが与えられる。

3.9.5 バックハンド・グラウンドストローク

3.9.5.1 球出しをアスリートのバックハンド側に行う以外は、フォアハンド・
グラウンドストロークと同様である。各アスリートには 5 回の試技の
チャンスが与えられる。

3.9.6 サーブ—デュースコート

3.9.6.1 各アスリートには 5 回の試技のチャンスが与えられ、右側のコートか
らデュースサイドのサービスボックスに適切なサーブを打つ。正しい
サービスボックスにボールを入れると、10 ポイントが与えられる。
アスリートがフットフォルトを取られた場合、またはサービスボック
ス内にボールが入らなかった場合、0 ポイントとなる。アスリートが
サービスラインを踏んだり超えたりした場合、フットフォルトとみな
される。

3.9.7 サーブ—アドバンテージコート

3.9.7.1 左側のコートからアドバンテージサイドのサービスボックスにサーブ
する以外は、デュースコートの場合と同様である。

3.9.7.2 各アスリートには 5 回の試技のチャンスが与えられる。

3.9.8 動きを伴う左右交互のグラウンドストローク



- 3.9.8.1 アスリートはサービスラインの中央（T）から 1 m 後ろの位置から開始する。球出し担当はネットの反対側のサービスラインとネットの中間に立つ。交互に下手投げでボールをトスし、アスリートのフォアハンド側とバックハンド側に届くようにする。トスはすべてサービスラインとネットの中間地点、かつセンターサービスラインとシングルサイドラインの中間地点に落とすこと。次のボールが出される前に、アスリートはセンターマークまで戻ることができる余裕を与えられなければならない。各アスリートには 10 回の試技のチャンスが与えられる。
- 3.9.8.2 アスリートは、どちらかのサービスボックス内に打ち返すと、5 ポイントが与えられる。
- 3.9.9 最終スコア
 - 3.9.9.1 選手の最終スコアは、個人技能競技を構成する上記 7 種目のそれぞれのスコアを合計することによって決定される。



3.10 個人技能テストヒートシート

アスリート名前 _____				男性/女性	ボールフィーダーは、ネットから 2メートル離れて反対側に立つ	レッドボール IFF 認証
選手団		ディビジョン		それぞれのポイントを丸で囲む		
スキル	1 球目	2 球目	3 球目	4 球目	5 球目	合計
フォアハンドボレー	0 5	0 5	0 5	0 5	0 5	
ネット上の位置 (アスリート) 2 回の練習/5 回の試技						
バックハンドボレー	0 5	0 5	0 5	0 5	0 5	
ネット上の位置 (アスリート) 2 回の練習/5 回の試技						
フォアハンド グラウンドストローク	0 5	0 5	0 5	0 5	0 5	
サービスライン上 (アスリート) 2 回の練習/5 回の試技						
バックハンド グラウンドストローク	0 5	0 5	0 5	0 5	0 5	
サービスライン上 (アスリート) 2 回の練習/5 回の試技						
サーブス - デュース	0 10	0 10	0 10	0 10	0 10	
サービスライン上 (アスリート) 2 回の練習/5 回の試技						
サーブス - AD	0 10	0 10	0 10	0 10	0 10	
サービスライン上 (アスリート) 2 回の練習/5 回の試技						
グラウンドストローク (交互)	1 球目	2 球目	3 球目	4 球目	5 球目	
FH/BH を交互に 10 回	0 5	0 5	0 5	0 5	0 5	
サービスライン 上の位置 (アスリート)	6 球目	7 球目	8 球目	9 球目	10 球目	
FH/BH を交互に 10 回	0 5	0 5	0 5	0 5	0 5	
					合計	



4. レベル

以下はすべての能力のアスリートに対し競技の機会を提供するために考案されたレベルである。レベル 2~5 を対象とする競技種目は、シングルス、ダブルス、ミックスダブルス、そしてユニファイドダブルスである。

4.1

レベル 1	個人技能競技	個人技能ヒートシート	ITN 合計スコア	42 フィート (12.8m) コート-レッドボール
レベル 2	マッチプレー	ITN 10.1	F/M-1-16	42 フィート (12.8m) コート-レッドボール
レベル 3	マッチプレー	ITN 10	F-57-79 M75-104	60 フィート (18.29m) コート-オレンジボール
レベル 4	マッチプレー	ITN 9	F-80-108 M105-139	78 フィート (23.77m) コート-グリーンボール (緑の丸が描かれたイエローボール)
レベル 5	マッチプレー	ITN 8, 7	F-109-171 M140-209	78 フィート (23.77m) コート-イエローボ ール
レベル 6	マッチプレー	ITN 6, 5, 4	F-172-258 M210-293	78 フィート (23.77m) コート-イエローボ ール

4.2 ダブルスの試合では、両方の選手が同じレベルのレイティングでなければならない。レベルが異なる場合、チームは最もレベルの高い選手のレベルで競技をしなければならない（例：レベル 4 とレベル 5 の選手がペアの場合、レベル 5 指定の 78 フィートコートとイエローボールで競技する）。シングルスレイティングの組み合わせは、高いレベルでチームのディビジョニングをするために用いられる。

4.3 参照：

4.3.1 ITNアセスメントー <http://www.itftennis.com/>

4.3.2 レベル別のコート図ー

http://media.specialolympics.org/soi/files/resources/Sports-Rules-Competitions/Tennis/Levels_court_diagrams.docx

4.3.3 SO ITN 査定動画

4.3.3.1 <https://vimeo.com/289520911/caff34e88b> - コートの準備方法

4.3.3.2 <https://vimeo.com/289517598/a32620c8c1> - レベル 4/5/6 ハードコート

4.3.3.3 <https://vimeo.com/289519201/48bf99adf6> - レベル 4/5/6 クレーコート

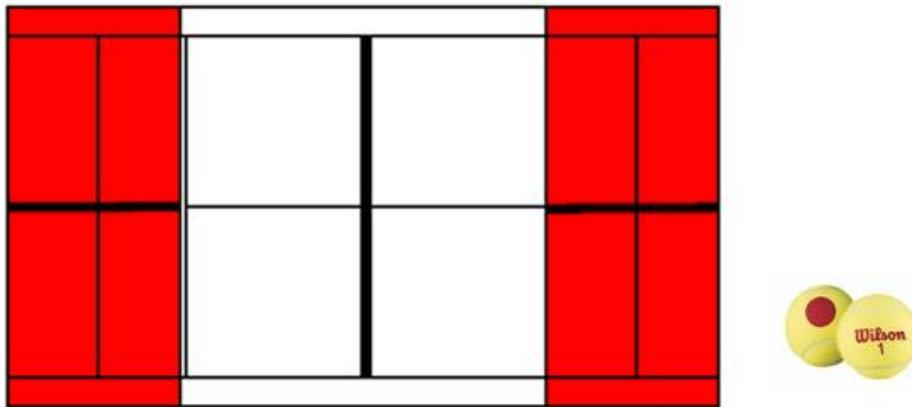
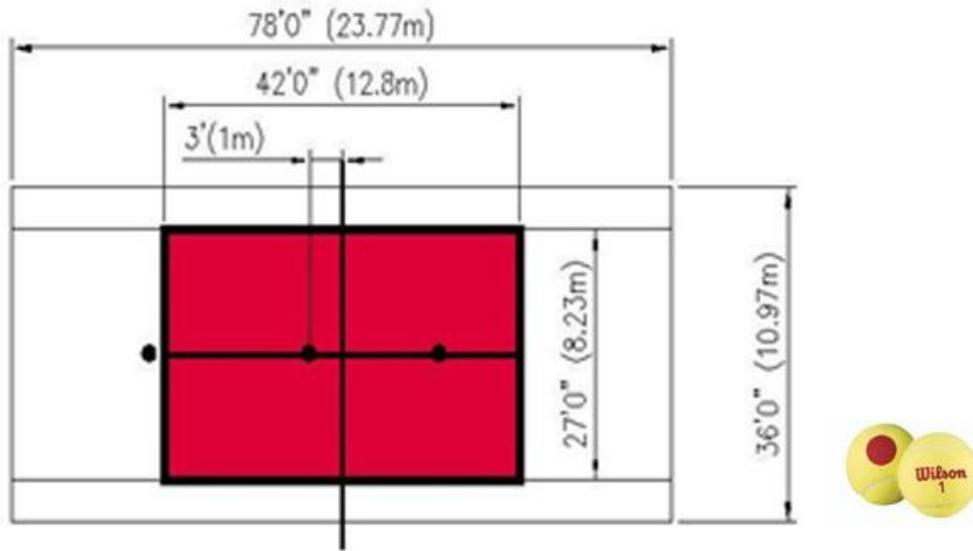
4.3.3.4 <https://vimeo.com/289516053/0f0096b73e> - レベル 3 クレーコート

4.3.3.5 <https://vimeo.com/289515397/89c2e66ba5> - レベル 2 ハードコート

4.3.3.6 <https://vimeo.com/289514735/a615dc5d35> - レベル 2 クレーコート



4.4 レベルコート図

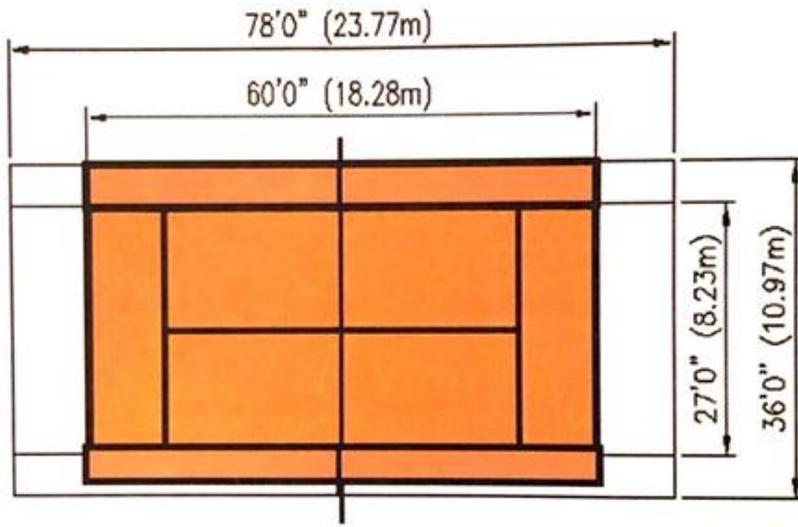


It's also possible to use the back part of the 78'x 36'court

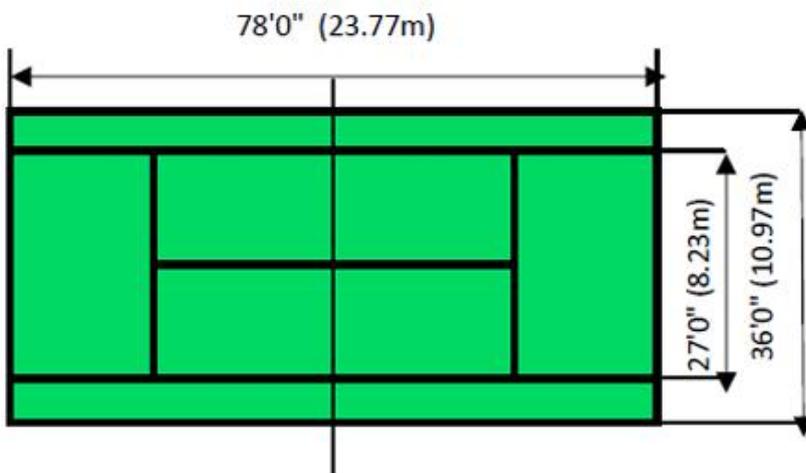
コートの裏側の 78' × 36' を使うこともできるレベル3



4.4.1.1 Level 3

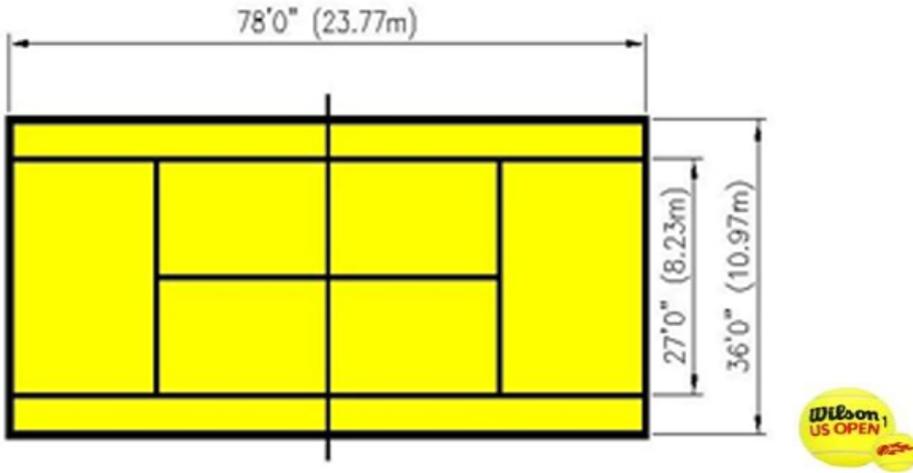


4.4.1.2 Level 4





4.4.1.3 Levels 5 and 6



SO Promotional Video





5. レベル ITNアセスメントフォーム
5.1 10.1 レベル2

インターナショナル・テニス・ナンバーコート上の査定 (10.1 用)

氏名:	誕生日:
査定者:	日付:

この査定に使用するコートサイズフルサイズコート



グラウンドストロークのコンシステンシー		
ストローク	#	スコア
フォアハンド	1	
バックハンド	2	
フォアハンド	3	
バックハンド	4	
フォアハンド	5	
バックハンド	6	
フォアハンド	7	
バックハンド	8	
グラウンドストロークの深さ		合計

ボレーのコンシステンシー		
ストローク	#	スコア
フォアハンド	1	
バックハンド	2	
フォアハンド	3	
バックハンド	4	
ボレーの深さ		合計

サーブのコンシステンシー		
ストローク	#	スコア
右	1	
左	2	
右	3	
左	4	
サーブ合計		

サービスボックス内でボレーまたはグラウンドストロークを決めるごとに1ポイント

正しいサービスボックスに入れたすべてのサーブに対し各 1 ポイント

この ITN 査定は ITN アセスメント公式ガイドで規定されているガイドラインに基づき実施された。私はここにその真正性に同意する。

選手/代理人による署名

スコアリング

機敏さのポイント換算表

T	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15
S	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	18	19	21	26	32	39	45	52	61	76

T: タイム
スコア:

査定者による署名

ストローク	機敏さのスコア	最終スコア
合計		0

査定番号 _____ 新しい ITN レイティング _____

査定者による署名



5.2 ITNアセスメントレベル3, 4, 5,

氏名 _____ 誕生日: _____ 性別: 男 女
 査定者: _____ 日付: _____ 会場: _____

グラウンドストロークの深さ			ボレーの深さ			グラウンドストロークの正確さ			サーブ		
ストローク	#	スコア:	ストローク	#	スコア:	ストローク	#	スコア:	ストローク	#	スコア:
フォアハンド (FH)	1		フォアハンド (FH)	1		フォアハンド DL 1			第1ボックス幅広	1	
バックハンド (BH)	2		バックハンド (BH)	2		バックハンド DL 2			第1ボックス幅広	2	
フォアハンド (FH)	3		フォアハンド (FH)	3		フォアハンド DL 3			第1ボックス幅広	3	
バックハンド (BH)	4		バックハンド (BH)	4		バックハンド DL 4			第1ボックス中	4	
フォアハンド (FH)	5		フォアハンド (FH)	5		フォアハンド DL 5			第1ボックス中	5	
バックハンド (BH)	6		バックハンド (BH)	6		バックハンド DL 6			第1ボックス中	6	
フォアハンド (FH)	7		フォアハンド (FH)	7		フォアハンド CC 7			第2ボックス中	7	
バックハンド (BH)	8		バックハンド (BH)	8		バックハンド CC 8			第2ボックス中	8	
フォアハンド (FH)	9		小計			フォアハンド CC 9			第2ボックス中	9	
バックハンド (BH)	10		コンシステンシー加算			バックハンド CC 10			第2ボックス幅広	10	
小計			ボレーの深さ 合計			フォアハンド CC 11			第2ボックス幅広	11	
コンシステンシー加算						バックハンド CC 12			第2ボックス幅広	12	
グラウンドストロークの深さ 合計						小計			小計		
						コンシステンシー加算			コンシステンシー加算		
						グラウンドストロークの正確さ 合計			サーブ合計		

機敏さのポイント換算表	T: タイム (秒)	スコア:
-------------	------------	------



この ITN 査定は ITN アセスメント公式ガイドで規定されているガイドラインに基づき実施された。私はここにその真正性に同意する。

選手/代理人による署名:

査定者による署名:

ストローク合計	機敏さのスコア	最終スコア

T	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	査定番号	新しい ITN レイティング				
S	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12	14	15	16	18	19	21	26	32	39	45	52	61	76						
スコア (女性)	57-79			80-108			109-140			141-171			172-205			206-230			231-258			259-303			304-344			345-430				
スコア (男性)	75-104			105-139			140-175			176-209			210-244			245-268			269-293			294-337			338-362			363-430				
ITN	ITN 10			ITN 9			ITN 8			ITN 7			ITN 6			ITN 5			ITN 4			ITN 3			ITN 2			ITN 1				

査定終了後、選手の ITN レベルに丸をつける。